

[フロントライナー] Frontliner

株式会社日本保健衛生協会
東京支社
サニタリーグループ
発行責任者/東京支社サニタリー-G

現場スタッフの皆様

平素より業務にご尽力頂いておりますこと、深く感謝申し上げます。

さて、梅雨に入り大雨の影響で各地に甚大な被害が出ております。梅雨が明けても秋には台風シーズンを迎え、今後も思いもよらない自然災害が発生するかも知れません。自然災害時の備えは、自宅のみならず職場でも日頃の心がけ準備が必要です。

以下を参考に、常日頃より対策をしておきましょう。

避難場所やハザードマップの確認

各自治体では避難場所やハザードマップが作成されており、誰でも入手可能です。自宅や職場の情報を確認しておきましょう。



勤務中や職場で災害に遭遇したとき

- 安全な場所に避難し、職場で避難訓練を実施している場合は手順を確認しておきましょう。
- 災害の種類や範囲を正確に把握することが重要です。ラジオやテレビなどの情報源より最新の情報を入手し、上司やリーダーの指示や警告に従いましょう。
- まずは責任者に状況を報告しましょう。同僚の安否確認（家族も含む）や避難手順について相談し、アナウンス等があったら確認し従いましょう。
- 災害が発生した場合、周囲の人々や関係機関との連携も重要です。必要な支援や救助活動に参加する事により、共同努力での復旧や被害の最小化に貢献しましょう。

家族との連絡手段・集合場所

スマートフォン等のSNSでグループを作って一度に連絡が取れる様にしておくといいでしょう。また避難時の集合場所についても確認しておきスマートフォンの中に入れておきましょう。ご高齢でスマートフォンや携帯電話等を使えない場合、家族の連絡先や避難場所を印刷してラミネートしたものを携帯しておくのも良いと思います。

(準備しておくの良い情報)

- 家族の連絡先（携帯等）
- 避難所の名称
- 家から避難所までの地図
- 緊急時の連絡先（家族以外の連絡先）
- 身内の連絡先（遠方に住んでいる親戚等）



(防災袋の備え)

防災袋には、災害時に必要で基本的なアイテムを入れておくのが重要です。下記は一般的なアイテムの一例です。

- 非常食 長期保存が可能な缶詰・乾パン
- 飲料水 ミネラルウォーター・簡易浄水器
- 応急処置キット 包帯・ガーゼ・消毒液・絆創膏
- 懐中電灯やラジオ 予備電池
- 衣類・毛布 防寒対策のため アルミシート
- マスク・軍手・携帯バッテリー等
- 重要書類 パスポート・保険証・現金



『備えあれば憂いなし』という諺があるように
常日頃から災害発生時の防災意識を高めておきましょう。